

(学校番号001) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【高砂小学校】

① 4月19日 目標・策		
知識・技能	令和4年度全国学力・学習状況調査の国語科・算数科・理科の「知識・技能」において、さいたま市平均を上回る。	⇒ 「漢字・計算ドリル」や「ドリルパーク」、「自作プリント」「スタディ・サプリ」を活用し、知識・技能の習熟を図る。その際、児童の学習状況を把握し、個別かつ重点的に指導する。
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査の国語科・算数科・理科の「思考・判断・表現」において、さいたま市平均を上回る。	⇒ 児童が作文等の論述作業や作品等の制作に取り組む際に、思考したことを可視化する等の手立てを講じ、伝えたいことの整理や事実に意見の区別、自分なりの表現の発見を生かす。また、対話する場面や共有する場面等のアウトプットする機会を設定し、表現力の向上に努める。
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度全国学力・学習状況調査「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒ 児童にとって、自ら問いを見出して、解決の必要感がある課題を設定する。また、「できそう。」「やってみよう。」と思える見通しをもてるよう学習を展開する。さらに、自己の変容を感じられるような学び直しや振り返りの時間を設定する。

③ 9月1日 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能	今後も全国学力・学習状況調査の国語科・算数科・理科の「知識・技能」において、全国平均を上回る。特に、習得した知識・技能を、次の学習や生活などに生かせるようにする。	⇒ 習得と活用を明確にした単元計画を立てる。情報や条件を整理し分析する力を養う。具体的な場面を想定した活動を通して汎用的な知識・技能を養う等の授業改善を図り、生きて働く知識・技能の習得を図る。
思考・判断・表現	今後も全国学力・学習状況調査の国語科・算数科・理科の「思考・判断・表現」において、全国平均を上回る。特に、情報を整理し分析して、伝えることをまとめ表現する力を発揮できるようにする。	⇒ 各教科の見方・考え方を働かせる学習活動を設定する。対話する場面や共有する場面等のアウトプットする機会を設定する等の授業改善を図り、読み取る力や聞き取る力を養う。目的に合わせて整理する力を養う、伝えることをまとめ表現する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	今後も全国学力・学習状況調査「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒ 児童にとって、自ら問いを見出して、解決の必要感がある課題を設定する。また、「できそう。」「やってみよう。」と思える見通しをもてるよう学習を展開する。さらに、自己の変容を感じられるような学び直しや振り返りの時間を設定する。自分の興味・関心を生かし、学ぶ内容や方法、計画を自分で決め定める学びを充実させる。

② 8月31日 全国学力・学習状況調査結果	
全国学力・学習状況調査結果・分析	

④ 2月〇〇日 さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

⑤ 2月〇〇日 成果指標に対する達成状況		
		評価(※)
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

⑥ 3月〇〇日 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)